

# 日本認知症グループホーム協会 「ロゴマーク」が決定しました



## 日本認知症グループホーム協会

### 300作品以上のなかから 最優秀賞が選ばれる

2010年4月に内閣府より公益社団法人の認定を受けたのを機に、日本認知症グループホーム協会ではロゴマークの制定を検討していました。翌11年には一般公募を開始したところ、予想をはるかに上回る300作品以上ものご応募をいただきました。

当協会役員をはじめ、多摩美術大学の森脇裕之

准教授の協力による厳選なる審査を通じて、このたび、上記のロゴマークが最優秀賞に輝き、正式に当協会のロゴマークになりましたことをお知らせいたします。

このロゴマークを作成したのは、大阪府在住の永田康二さんです。永田さんはロゴマークのイメージについて、「グループホームの頭文字である『G』と『H』をモチーフに、人型の『H・human』を『G・group』で取り巻いています。互いを支え合う気持ちと人と人のつながりをイメージしました」と説明します。

ロゴマークは、10月5～6日に大阪で開催された「第三回日本認知症グループホーム大会」のステージ上に掲げられましたが、今後は当協会のパンフレットやポスター、封筒などにも使用していく予定です。皆さまにおかれましては、今後とも当協会のロゴマークをご愛顧のほど、よろしく願いたします。

第三回日本認知症グループホーム大会で表彰された永田康二さん

